

しまね女性の活躍推進事業【島根県】

地域の実情と課題

- ①中山間地域が多く、県内企業の99.9%が中小企業で、小規模企業の割合が高い。
- ②女性の就労継続意欲が高く、就業を希望する女性が多いが、働き続けにくいと認識しており、夫の家事・育児時間も女性に比べ少ないため、女性に負担がかかっている。また、女性の管理職への昇進意欲は低い。
- ③県内全域で、企業において女性の活躍推進のための取組みが進んでいるとは言い難く、経営者、管理職等と女性の間意識の乖離がある。
- ④県内の有効求人倍率は上昇を続け、人手不足が深刻な状況にある。

事業の特徴

- ・連携団体が主体性をもって女性の活躍推進に取り組むため「しまね働く女性きらめき応援会議」にワーキングチームを設置し、ワーキングメンバーが事業を企画、運営する体制で事業を実施。
- ・全県における女性活躍の推進に向けて、県内企業における女性活躍に取り組む意識の醸成とネットワーク形成を目的としたフォーラムを開催。
- ・企業における男性の家事・育児・介護参画の取組事例や実際に育休を取得した男性を紹介するリーフレットの作成、SNSを活用した啓発を実施。
- ・女性と企業との雇用のミスマッチを解消するために職場見学会等を実施。

事業の効果

女性の活躍等に関して企業や県民を対象に調査を行い、把握した県内の状況や課題を、女性活躍推進フォーラムや男性の家事・育児参画促進に向けたリーフレット等で紹介し、県の状況を広く周知するとともに、企業における島根県の実態に即した取組みの参考になったと考えられる。

また、職場見学会等を通じて就職につながるケースもあり、企業と求職者双方において、雇用のミスマッチの解消に効果がみられた。

女性活躍に取り組む企業への支援、セミナーなどによる意識改革、機運醸成を継続して実施していることにより、少しずつ女性活躍に対する取組みが広がっている。

目的・目標

全県での女性の活躍推進のための取組みの促進「全国一働きやすく女性が活躍する県」の実現と県内企業の発展。

【事業目標:しまね女性の活躍応援企業登録数 275社(R2年度)】

【達成状況:令和2年3月末の登録数 244社】

連携団体

【しまね働く女性きらめき応援会議】

[経済団体] 商工会議所・商工会連合会、中小企業団体中央会、経営者協会、経済同友会 他

[農林水産団体] JA、森林組合 他

[労働団体] 連合島根、連合島根女性委員会

[女性団体] 連合婦人会、21世紀職業財団、栄養士会、看護協会、保育協議会 他

[教育機関] 島根大学、島根県立大学、松江高専

[学識経験者][行政] など

今後の課題

少しずつ女性活躍に対する関心や取組みは広がりつつあるが、県内全域で進んでいるとは言い難く、継続した就業環境の整備や企業への働きかけが必要であり、特に中小企業が多い島根県においては、経営者の意識が重要になるため、いかに経営者への意識・行動改革につながる取組みを行うかが課題である。

また、男性の育児休業取得が希望に比べ少ないことや、家庭において女性の負担が多くかかっている実態があるため、ワーク・ライフ・バランスの推進を効果的に進めていく必要がある。

事業の概要

<女性活躍推進フォーラム>

優良な取組を行う県内企業の事例発表や県内学生が企業を取材し制作した動画の発表を実施。また、参加者同士の意見交換会を行った。



<男性の家事・育児等参画促進のための情報発信>

企業における男性の家事・育児・介護参画促進に向けた取組事例として、育休等を取得した男性などを紹介するリーフレットと、高校生を対象としたワーク・ライフ・バランスを考えるためのリーフレットを作成。SNSを活用した啓発の実施。



<女性リーダー育成に向けた階層別セミナー>

女性リーダーを育成するために、若手・中堅社員、リーダー（候補）社員、上司を対象とした3種類のセミナーを共通テーマを設けて実施。若手・中堅社員向けセミナーでは研修最終日に受講者の上司や関係者を招いて、成果報告会を実施した。



<女性就労ワンストップ窓口におけるインターンシップの実施>

就労希望のある女性と企業との雇用のミスマッチを解消するために、企業の人事担当者等との意見交換会や企業の見学会の実施。また、意見交換会・企業見学会で興味のある企業があった場合、2日程度の職場体験を実施した。